



# とうめい news

2024.1.1  
Vol. 269

〒248-0034 厚木市船子237  
TEL. 046-229-3377  
発行者:河野 昌史  
編集責任者:佐藤 賢治  
印刷: (有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

## あけましておめでとうございます

横浜港に寄港していた大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」内でのコロナウイルス集団感染、大規模検疫開始からまもなく4年が経ちます。前例のない豪華客船でのアウトブレイク（突発的集団発生）であり、当時はこのウイルスの正体も不明で、未知の感染症のリスクを誰もが軽視していました。この冬もオミクロン株のワクチン接種が行われていますが、このウイルスは数か月単位で今も変異を繰り返しています。夏と冬に波のピークを繰り返すため、この冬もまた患者数が増加する可能性があります。ただ4年前とは異なり、我々は衛生対策などこのウイルスの対処法を修得し、既知の感染症として抗ウイルス薬も使用できる環境ができつつあります。皆様方には、いたずらに恐れずに「一病息災」を肝に銘じて、定期受診・検診で体調管理を今年も継続して頂きたいと存じます。

去年は1年中収束もせずに夏から始まったインフルエンザの流行、小児を中心に過去にない多種の同時ウイルス感染などがありました。感冒症状の治療に利用される鎮咳去痰薬（ちんがいきょたんやく）、解熱薬、一部の抗菌薬、漢方薬などが全国のほとんどの薬局で在庫切れになるなど、初めて経験する未曾有の状況が生まれました。薬価の低下や後発品化が進む中で、この状況は当面は続くと思われま

す。また毎年になりつつある猛暑、異常気象で、全国どこでも線状降水帯による施設冠水などのリスクもあり、厚木市のハザードマップを参照すると当院も例外ではありません。冠水、防災対策には日々準備をし、1日たりとも診療継続が出来ない事態を招かないことが一番重要な使命と考えております。

今年も当院は、地域のニーズに合った医療機能の強化を目標に掲げてまいります。高齢者を支える体制をサポートするため、多職種協同（すべてのメディカルスタッフ）でチーム医療を提供していきたいと考えております。診察室だけが医療や治療ではありません。それぞれの役割を持った専門のメディカルスタッフにいろいろご相談頂きたいと思っております。さらに、がん、糖尿病、脳・心疾患など高度専門性の高い治療のために、東名厚木病院との連携も重要です。検診から在宅支援までシームレスなバックアップ体制、高齢化時代に対応できる医療体制をさらに発展させていきたいと思っております。また、国のデジタル化促進の方針を受け、オンラインを用いた診療予約や予約変更、来院できない患者さんに対するオンライン診療、電子処方箋などもさらに進めていきたいと考えています。今年も職員一同、決意を新たに、日々の診療に尽力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に本年が皆様にとりまして、良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

とうめい厚木クリニック

院長 河野 昌史